

## I. 予備調査について

### I-1. 事業管理者のプロフィール

団体名 (代表者名)	建設産業専門団体四国地区連合会 会長 武田 美治		
所在地	香川県木田郡三木町井上 3000-45 武田建設(株)内		
電話番号	087-898-3055	E-mail	
FAX番号	087-898-3400	URL	
設立年月日	平成16年2月25日	担当者名	

### I-2. 申請時の事業概要

建専連四国地区連合会と香川県（土木部）、香川大学、県下の工業高校等と連携し、担い手確保育成の協議会を設置のうえ、地域における教育訓練体系の実態調査等を行い、実施事業への移行可能性について調査、検討する。

#### 1. 地域連携ネットワーク構築に向けた調査等

建設業団体（総合工事業・専門工事業）や行政、教育機関等の担い手確保育成に係る活動について調査し、関係団体による担い手確保育成の協議会のあり方について検討のうえ、協議会を設置する。

#### 2. 先進事例の情報収集調査

香川県内及び県外の先進的な取組事例について調査を行う。

#### 3. 地域における教育訓練施設等の調査

企業内訓練校等の民間職業訓練校の調査を行うほか、既存訓練施設（ポリテクセンター等）の訓練内容の現状調査を踏まえ新たな活用方策について検討する。

#### 4. 実施事業移行に係る検討

上記の教育訓練施設の調査を踏まえ、技能者、技術者の訓練、教育の具体的な検討として、研修対象職種及び研修プログラム等を検討し、実施事業移行の可能性について検討する。

## Ⅱ. 調査結果

### Ⅱ－１. 実施した調査内容

※調査を行った事項について、具体的に記入してください。

- ①香川県内の専門工事業者特に躯体業者について 20 年間の組合員数、作業員数の動向調査
- ②香川県内の小学校、中学校、高等学校、専修学校、各種学校、特別学校について、学校数、生徒数、進学率、建設関連就業者数等の調査。
- ③平成 28 年に開校予定の「匠の学び舎アカデミー」と「職人育成塾」についてのコンセプト、講義内容取得資格、カリキュラム等についての調査。
- ④専門工事業者、技能者、一般へのアンケート調査
- ⑤建災防香川支部作成の業種別教育資料の有効利用についての調査
- ⑥予備役自衛官採用の可能性についての調査
- ⑦香川県高等技術学校高松校、丸亀校における建設専門工事業者による出前講座についての調査、実施
- ⑧香川県下工業高校での出前講座についての調査
- ⑨文部科学省が提唱する「土曜学習応援団」への躯体 3 業種(鳶土工事、鉄筋工事、型枠工事)の企業が合同で職人の技能を披露し、職業体験を通して習熟した技能の素晴らしさを伝えるための調査
- ⑩スキルアップ協議会主催の「フレッシュマン合宿」、「職長講習会」実施に向けた調査

### Ⅱ－２. 地域教育訓練ネットワーク構築について

※団体等と連携し、教育訓練組織のネットワーク連携の可能性について記入してください。

現在、高校新卒者の就職に関しては多くの産業から求人が殺到しており、売手市場となっている。従来より「3K」と呼ばれ、危険、休日が少ない、給与が安い、などの負のイメージが定着している我々専門工事業者の建設現場での作業は本人はもとより、進路指導の先生方、また保護者にも敬遠され、このままでは、作業員の数が大きく不足し、我々がこれまで培ってきた技術、技能の伝承ができず、我国の社会資本整備を担い、また地震や津波といった突然の自然災害に即座に対応する重要な役割を果すことができない状況に追込まれつつある。

香川県専門工事業担い手確保育成推進協議会は、四国建専連傘下の 23 団体と四国地方整備局建政部、香川県土木部監理課、ポリテクセンター香川等が専門工事業者の若手作業員確保育成に関する情報を共有し、専門工事業者だけでは解決できない諸問題についてアドバイスを受け、また国や県の行政、訓練学校等のインフラ利用も視野に連携することを目標に結成された。

## Ⅱ-3. 教育訓練体系の内容について

※教育訓練施設の確保やカリキュラム・教材・講師等について調査内容を記入してください。

県内には、公的には香川県高等技術学校高松校、丸亀校、香川ポリテクセンター、四国職業能力開発大学校などがある。また一般社団法人として本年開校予定の「匠の学び舎アカデミー」、「職人育成塾」の活動に期待している。具体的には

①香川県高等技術学校高松校、丸亀校と連携し、躯体工事(鉄筋、型枠、鳶土工)の実習指導とカリキュラムの改訂を進めることで学生が興味を持って建設工事に接する機会ができる。また、両校に鉄筋工事1級技能士試験用鉄筋のミニモデルを贈呈し、毎日目に触れるところへ陳列依頼をする。

②ポリテクセンター香川の現在のカリキュラムの中では富士教育訓練センターのような長期間に渡る専門工事業者の教育訓練は無理がある。単発的な資格取得の場所を提供いただいたり、教室を利用した集合教育等には十分利用できる。現在鉄筋工事の施工図作成技能士試験の練習場として、試験会場としても利用している。

③香川県で本年4月開校予定の「匠の学び舎アカデミー」ならびに9月開校予定の「職人育成塾」と連携し、同校のカリキュラムの中で生徒を会員企業で受け入れ、OJTを実施したり、技能士を講師として派遣するなどの協力が可能。

④スキルアップ協議会の活動の一つとして、若者定着促進のため、現場で若者を指導する立場にある職長・熟練技能者を集めて、若者に対する理解を深めるための「職長講習会」を県内で開催し、技能を持った経験者に指導者としての知識も身に付けてもらい、若者の定着率向上に寄与するべく計画している。

## Ⅱ-4. その他周辺事業について

※その他広報活動などはここに記入してください。

○鉄筋工事1級技能士試験用ミニモデルをスキルアップ協議会会員企業で組立て、香川県内の工業高等学校4校、香川県高等技術学校高松校、丸亀校、匠の学び舎アカデミー計7箇所へ贈呈したい。

○自衛隊予備役隊員に対する募集活動をスキルアップ協議会主催で開催するべく準備中。

○小中学生へのアプローチとして文部科学省が提唱する「土曜学習応援団」に登録し、小学生、中学生を対象にものづくりの魅力を伝える。現在型枠、鉄筋、鳶土工の三業種合同で応募するべく内容について検討中。

○技能労働者の処遇改善のための取り組みとして元請団体を訪問して以下のような要請活動を行う。

《 要望予定内容 》

- ・ 社会保険未加入業者との差別化及び未加入業者の現場からの排除の厳格な運用

- ・ 重層下請を回避するため、技能者や資機材を抱え、見積能力及び施工能力のある専門工事業者への発注
- ・ 社会保険の原資となる法定福利費の適切な計上
- ・ 施工歩掛等に基づいた現場作業員や技能者の適切な賃金水準の確保
- ・ 短工期とならないような余裕を持った工期による休日の確保
- ・ 安全を確保するために必要な経費の計上

○技能労働者の処遇改善のための取り組みとして、専門工事業者が取り組むべき技能労働者の処遇改善策として以下の内容を検討整備する。

《 検討内容 》

- ・ 各職別の職能給の整備（職能レベルの設定、資格要件、資格など）
- ・ 職能レベルに応じた給与体系の確立と生涯賃金の提示
- ・ 施工の合理化・効率化（省力化工法、多能工化など）と水平展開
- ・ 重層下請の回避（社会保険未加入企業の排除）
- ・ 技能労働者の施工能力、原価管理能力の向上で生産性を上げる
- ・ 登録基幹技能者の現場での有効活用
- ・ 女性が活躍できるような環境整備

## Ⅱ－５．実施事業への移行について

※実施事業に移行できるかどうか。誰とどのようなことをしたいか等大まかな予定を記入してください。

予備調査の結果、実施事業へ移行することは可能と判断した。実施事業は以下を予定している。

- ①香川県高等技術学校高松校、丸亀校での出前講習の充実。
- ②本年開校予定の「匠の学舎アカデミー」、「職人育成塾」に対する協力。
  - ・ 建専連会員企業によるOJT受入協力
  - ・ 建専連会員企業による講師派遣協力
- ③スキルアップ協議会として予備役自衛官の採用に向けた建専連会員企業に対する啓蒙活動、募集活動。
- ④スキルアップ協議会主催の「フレッシュマン合宿」を開催する。  
若者の定着を図るため、業種の垣根を越えた合宿を開催する。
- ⑤スキルアップ協議会主催の「職長講習会」を開催する。  
若者をいかに教えるかをテーマとし、教え方を知らない現場の職長を対象に講習会を開催する。
- ⑥小中学生へのアプローチとして文部科学省が提唱する「土曜学習応援団」に登録し、小学生、中学生を対象にものづくりの魅力を伝える。

以上